

キャリア支援通信

～ 架け橋 ～

長良特別支援学校
キャリア支援部
令和2年7月22日

第2号

6月1日の学校再開から2か月が過ぎようとしています。6月29日から自宅通学生は通常の日課となり、多くの授業や実習が実施されました。第2号では、中学部の授業と高等部の実習について紹介します！！

中学部2年2組 作業学習



今年度のスタートは、作業用のエプロン作りでした。アイロンでの布端の三つ折り、端ミシン（布端から2ミリを縫う）に苦戦し、



「熱いなあ〜。」
「あ〜っ、ズした。」
などと言っていた生徒たちも、エプロンが出来上がるころにはすっかりアイロンやミシンの技術が上達しました。その技術を生かして、今はエコバックを作っています。今年は更に、新しい製品を開発中です。乞うご期待！！



中学部2年3組 作業学習

紙すきをしています。紙の色は牛乳パックとお花紙をミキサーでかくはんして付けます。その紙でカレンダーを作る予定です！！

生徒は一つ一つの工程が終わったら、「できました。確認をお願いします。」と教員に報告すること。困った時には「手伝ってください。」と教員に支援を求めたり、相談したりすること。これらを目標に取り組んでいます。休憩を入れることで、60分程度集中して取り組むことができます！！

作業学習を通して、働く楽しさや商品が売れる喜びを感じてもらいたいです。



高等部 校内作業実習

今年度の校内作業実習は感染症に配慮し、学級ごとに各教室で作業学習に取り組みました。

各教室でといっても、「作業に取り組む仲間の姿」は生徒同士の刺激になり、「あと少し、頑張ろう!!」「やってみよう!!」という気持ちをはぐくむことに繋がります。



そこで、各教室のドアを開放し、作業物品を各教室の中間地点である廊下に設定し、互いの姿を見合うことができるように工夫しました。

生徒たちはそれぞれの目標枚数に向けて、自分のペースで3日間取り組みました。疲れても、仲間の姿を見ることで、「頑張ろう!!」と取り組み続ける姿がありました。



高等部 就業体験

3年2組の生徒が、進路決定に向けて就業体験を行いました。

「ワークサポートあおやぎ」(B型事業所)では、割りばしや小皿を袋に入れ、テイクアウト弁当の食器セットを作る作業でした。任された仕事に一生懸命集中して取り組む姿がみられました。

「パソ岐阜校」(就労移行支援事業所)は、ビジネスマナーやパソコンスキル等を習得して就労を目指します。事業所の日課を体験し、身だしなみのチェック、オフィスの掃除、報告・連絡・相談の練習、パソコン入力等を緊張しながらも頑張ることができました。生徒一人一人が自分に合った進路先を見付けられるように、様々な事業所での実習に力を入れていきたいです。



<お知らせ>

6月に予定されていた「先輩の話を聞く会」は12月2日(水)に延期となりました。講師として卒業生とその保護者の方をお招きします。先輩の社会参加の話を聞くことで、児童生徒のみなさんに進路や学校生活について具体的に考えてもらう機会にしたいと思います。保護者のみなさんもぜひご参加ください。